



特集
テーマ

平成28年1月20日発行(昭和51年12月1日発行)

ろう学校の友だちを知ろう



長野市立南郷小学校のみんなと

僕たちは、
長野ろう学校の
高等部生です！

みなさんに
質問です。

ろう学校は
どんな人たちがいる
学校が知っていますか？

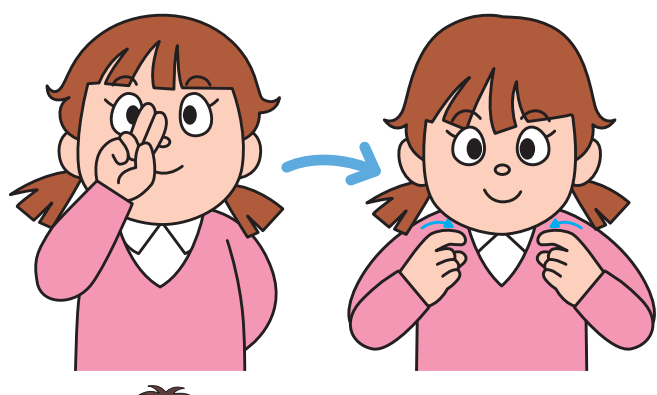
ろう学校(特別支援学校)は、
耳が聞こえない、聞こえにくい
人が通う学校です。

何を勉強しているの？
みなさんと学習することは同じです。
そのほか「自立活動」の時間があり、
ことは(日本語・手話)の学習や社会
制度などについて学習しています。

耳が聞こえないと、
どんなことに困ると
思いますか？

- こんなことに困ってしまいます！
- うしろからきた自動車や自転車が
近づいていることに気づかない
 - 字幕のない映画やアニメ、
テレビ番組が楽しめない
 - 電車やバスのアナウンスなど
呼び出しがわからない
 - 買い物するとき、お店の人との
やりとり ……など

この手話はなんと
言っているのでしょうか？



答えは右下にあります。

私たちは「聞こえ方」が
それぞれ違います。

「聞こえない」
音がまったく聞こえない

「聞こえにくい」
はっきりと聞こえない

「聞き分けにくい」
音が聞こえても何の音が
分りにくい。

……などです。



長野ろう学校小学部の教室

見える校内放送

授業で見る教材を使ったり、
緊急放送が映ったりします。

ろう学校の様子

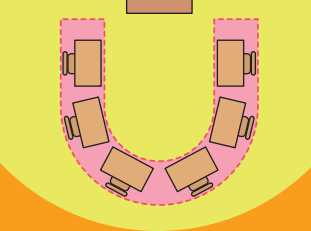
どうやって学んでいるの？
補聴器で聞こえを補い、相手の口の
形や、手話も用いて話している内容を
聞き取ります。



友だち同士や先生との会話は、
口話(指文字)と手話が中心です。

これが何かわかるかな？

机の並びは、お互いの
顔が見られる半円形。
(馬のひづめの形です)

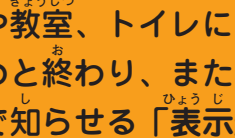


校内には「聞こえ」を
補う設備があります。

チャイムの
役目を
するよ。



お互いに
ぶつかること
を防ぎます。



廊下や教室、トイレにあり、授業
の始めと終わり、また非常時をラ
ンプで知らせる「表示灯」です。



廊下のすみや階段にある
「ミラー」。人の声や足音が
聞こえなくても見て安心！



私たちはろう学校の友だちと交流しています！

ちょボラ・ワンポイント Let's TRY

聴覚障がいのある人と話あ時は…

1 相手の顔を見て、ゆっくり、
大きな声で伝えよう

何かを伝えたいときは、
相手の正面に立って目と目を合わせ、
はっきり口を動かして、
ゆっくりと話しましょう。

ひろし です

2 短い文を区切りながら話そう

「わ、た、し、の……」のように一音ずつ区切り、
「ぼくの、名前は、ひろし、です」と、短い文を
区切って話しましょう。

ひろし

3 文字を書いて
伝えよう(筆談)

4 目で見てわかるものを使おう

●体や顔の動き(ジェスチャー・表情)で伝える
●手話、指文字を使う
そのほか、空書き(指で空中に文字を書く)という方法も
あります。

だから、話のしかたも、その人や
場面に合わせて方法をいっしょに見
つけてもらえると、うれしいです。

長野市立 城東小学校 長野県 長野ろう学校

交流運動会

歌ったり、踊ったり
するのは、みんな
大好きです。

交流会

学校祭や音楽会もお互いに
招待し合い、楽しんでいます。

クラブ活動(ドッジボール)

全校交流

手話の答えは「こんにちは」だよ。

松本市立 明善小学校 長野県 松本ろう学校

学級交流

学校が仲間同士なので
ふだんから行き来して
交流活動を行っています。

全校交流

協力：長野県長野ろう学校、長野県松本ろう学校、長野市立城東小学校、松本市立明善小学校

各校のボランティア・地域活動の紹介
長野市立 寺尾小学校

私たちの学校では、
こんな活動をしています。

各校のボランティア・地域活動の紹介
安曇野市立 穂高北小学校

おなかも心もいっぱい！

地域の方と祝う「めぐみの会」



大きな大根が
とれたよ！



おいしい
お餅を作るぞ！



たくさん
のお客様が来て
くださいました。

寺尾小学校には、全校のみんなが楽しみにして
いる「めぐみの会」という行事があります。「め
ぐみの会」とは、自然の恵みに感謝しながら、全校で
行う収穫祭です。5年生が作った米でお餅を、2年生
が育てた大豆できな粉を、そして各学年で栽培
したサツマイモ、大根、ジャガイモなどの野菜
が入った豚汁をお家の人と一緒に作ります。

「めぐみの会」のために、学校のぎんなんを地
域に販売する活動も行っています。「宝探し
みたいで楽しい！」「くさいのにも、だんだん慣れ
てきた！」「ぎんなんの強烈なおいにも負けず、

全校が力を合わせてがんばります。

また、この会にはお世話になっている地域の方々を招
待して、感謝の気持ちを伝えるという大切な目的があ
ります。社会見学や地域探検、総合的な学習や読み聞か
せなど、日々の学習活動を支えてくださった地域の
方へ、感謝の気持ちを込めて「おもてなし」をする
大切な時間です。今年は50名ほどのお客様と一緒
に収穫の喜びをおなかいっぱい味わいました。

「めぐみの会」で地域の方々との絆を深め、これ
からも地域の人や自然、そして「ふるさと寺尾」を
大切にしていきたいです。

あの震災を
忘れないで

宮城県(石巻市・
東松島市・安良町)

東日本大震災の被災地と
諏訪市子どもたちとの交流



東松島市の被災地を訪問

虹のかけ橋プロジェクト

諏訪市内の小・中・高校生が被災地訪問

今年度も
訪問する
予定です。

被災した方から話を聴きました

被災地の子どもたちと
霧ヶ峰高原で

東日本大震災を未来に伝えていくため
に、私たちも知って、伝えて、もっと
強くなることが大事なんだと思いました。

参加した
小・中学生の
感想

子どもはみんなの力になる。
そして、大人には大人。子どもに
は子どもの「力」があると思う。

BOSAI ミライ交流 in SUWA

被災地の子どもたちを諏訪に招待

被災した方から話を聴きました

被災地の子どもたちと
霧ヶ峰高原で

東日本大震災を未来に伝えていくため
に、私たちも知って、伝えて、もっと
強くなることが大事なんだと思いました。

参加した
小・中学生の
感想

子どもはみんなの力になる。
そして、大人には大人。子どもに
は子どもの「力」があると思う。

光をつむぐ虫「天蚕」

地域の宝を受け継ぐ



卵は意外と
固いんだね。

天蚕センターで和紙に卵をのりつけ

大きくなったヤマコ

クヌギの葉に
似ているね。

脱皮

やったー！
ぬけた。

繭を作り
始めたよ。

きれいな
コサージュが
できたね。

「天蚕」を知っていますか？ クヌギの葉を食べ、
自然の光と林の中で育ち、美しい緑色の繭を作
るヤマコのことで。

穂高北小学校のある有明地区では、古くからヤマコ
飼育が盛んでした。学校での飼育が始まったのは30年
以上も前です。今は、3年生が教室で水さし飼育、4年
生が敷地内の天蚕林で野外飼育をしています。3年生に
は4年生が、4年生には天蚕組合の方や地域の方が先生
となり、飼育の仕方を教えてくれます。

5月、4年生は天蚕センターへの「のりつけ」に行きま
した。センターの方に教えていただきながら、卵をのり

で和紙につけていきます。初めての経験にワクワク。こ
の卵を使って、3、4年生の天蚕飼育が始まります。

3日ほどするとヤマコがふ化します。その後、脱皮の
瞬間に立ち会ったり、毎日クヌギの葉を取りかえたりし
ながら、成長を見守ります。

7月、ヤマコは緑色の繭を作ります。繭は、中のさな
ぎを乾燥させて保存し、6年生の3学期にコサージュを
作ります。この活動も地域の方に教えていただきます。
できあがったコサージュは、卒業式で保護者の胸に飾ら
れます。

この地域の宝を、ずっと大切にしていきたいです。

